

日本技術士会長野県支部 防災 CPD 研修会 報告

- 1) 日時：令和 7 年 1 月 1 日（土） 13：30～16：00
- 2) 場所：松南地区公民館（長野県松本市芳野 4 番 1 号（なんなんひろば内））
- 3) 主催：主催 （公社）日本技術士会長野県支部
- 4) 研修内容 講演

演題：1 「建築基準法と耐震設計」

講師：篠田 諭 氏：J S C A 長野理事・信州建築構造協会相談役・
長野県耐震診断特別判定委員会委員・構造計算適合性判定員

演題：2 「2014 年神城断層地震による白馬村の被害と地質特性」

講師：太田勝一 氏：信州大学震動調査グループ・
理学博士・技術士（応用理学部門）

- 5) 参加者：会場参加者 17 名 WEB 参加者 21 名 計 38 名
- 6) 状況写真



<篠田先生>



<太田先生>

7) まとめ

防災研修会では、地震防災に関して、歴史資料による地震被災の状況や信州大学振動調査グループによる揺れやすさマップなどの調査に関連する報告などについて学んできています。昨年 1 月 1 日の能登半島で発生した活断層帯の隣接断層連動による直下型巨大地震の状況が判明してきている中で、糸魚川静岡活断層帯など同様の懸念のある地質条件を有する長野支部では建物の地震被害について学ぶ端緒になる公演として表記の 2 公演を開催しました。演題 1 は、建築物の構造設計を行う立場からの耐震性に関する建築基準法の変遷や対処の考え方など、演題 2 では、局所的な地盤構造と建物被災の関連に関する最新の知見などをいただき、地震防災に関しての知識を深める良い機会となりました。

以上